

一 関係部署一

検体検査・微生物学的検査・病理学的検査部門
生理機能検査部門
輸血検査部門

一 概要一

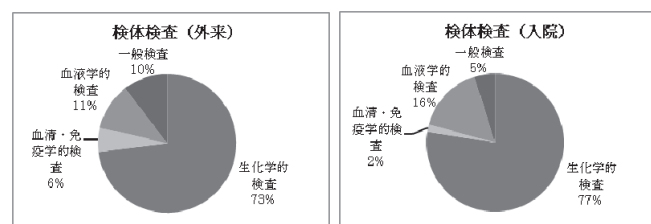
2012年度中央検査部において、外来検査で約124万件、入院検査で約67万件、外来入院合わせて約191万件的検査を行った。前年度に比べ、外来が約7万件約6%、入院で約3万件約5%増加した。

2012年度の目標の一つが、2013年4月の大阪府立泉州救命救急センターの当センターへの移管統合に向けて救命救急センター検査室の当センター中央検査部への移行であった。その為に、泉州救命救急センター検査室運営を1年前倒して取り組むことにした。泉州救命救急センター検査技師を当センターに配置し、泉州救命救急センターの日当直業務に当センター技師も参入した。1年かけてお互いの業務を兼務する事により、両方の業務が可能となり、効率的な検査運営・検査技術の向上につながる様に検査科全員で取り組んだ。

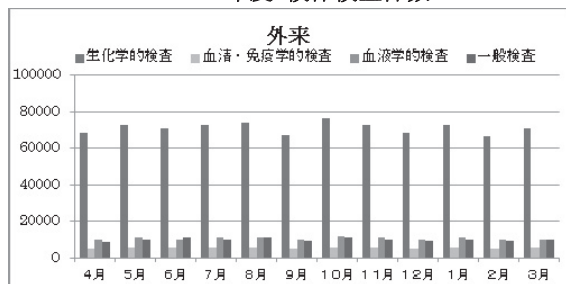
一 実績一

< 検体検査 >

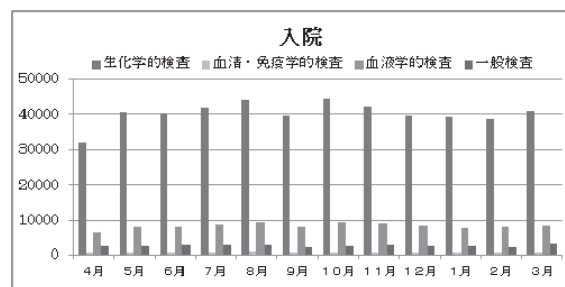
2012年の検体検査の件数は、血液学的検査で僅かに減少した以外、殆どの検査項目で増加した。外来検査で約117万件、入院検査で約63万件、外来入院合わせて約179万件で、前年度に比べ7.5万件(約7%)の増加であった。



2012 年度 検体検査件数



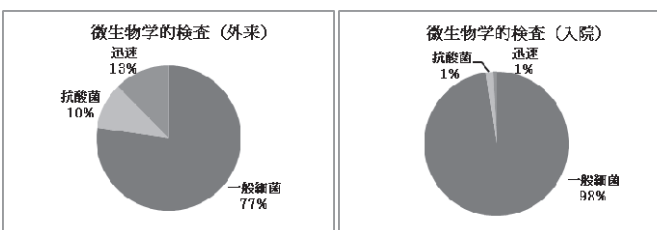
(外来)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生化学的検査	68554	72703	70983	72257	73637	67662	76233	72517	68437	72464	66662	71282	853391
血清・免疫学的検査	5136	5646	5518	5940	5583	5211	5933	5590	5226	5614	5408	5767	66572
血液学的検査	10298	11009	10457	10872	10821	10028	11354	10669	10206	10885	10000	10355	126954
一般検査	9259	10499	10654	10008	10668	9458	10631	10241	9898	10175	9570	10553	121614
合 計	93247	99857	97612	99077	100709	92359	104151	99017	93767	99138	91640	97957	1168531



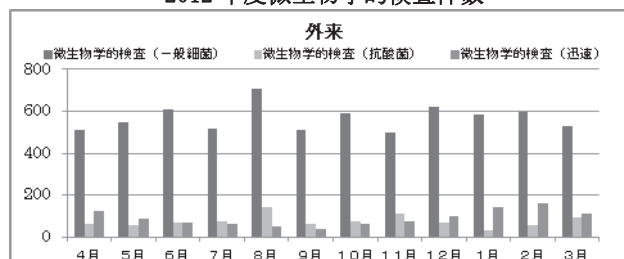
(入院)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生化学的検査	32100	40690	40441	41874	44299	39777	44695	42324	39544	39428	38516	41123	484811
血清・免疫学的検査	774	893	832	813	1079	848	822	871	778	934	873	926	10443
血液学的検査	6300	7985	8032	8555	9252	7909	9471	8960	8516	7764	8172	8274	99190
一般検査	2288	2372	2825	2610	2885	2210	2485	2781	2578	2502	2139	3108	30784
合 計	41463	51940	52130	53852	57515	50744	57473	54936	51416	50628	49700	53431	625228

< 微生物学的検査 >

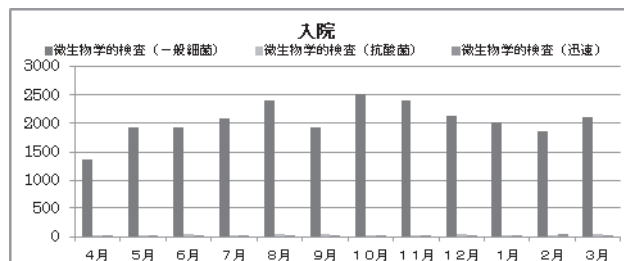
2012年度の微生物学的検査件数は、34,101件で、前年度に比べ約3%の増加である。入院での検査件数はほぼ前年並みであったが、2012年度より呼吸器内科の診療が再開された事により、外来件数が10%弱増加した。特に外来抗酸菌検査については、3倍近くの増加が見られた。



2012 年度微生物学的検査件数



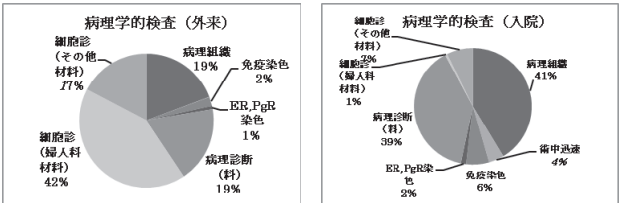
(外来)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
微生物学的検査(一般細菌)	508	546	611	514	708	511	588	500	619	583	598	532	6,818
微生物学的検査(抗酸菌)	61	55	69	74	140	64	77	114	70	29	58	94	905
微生物学的検査(迅速)	126	89	66	65	51	37	62	77	101	143	163	113	1,093
合 計	695	690	746	653	899	612	727	691	790	755	819	739	8,816



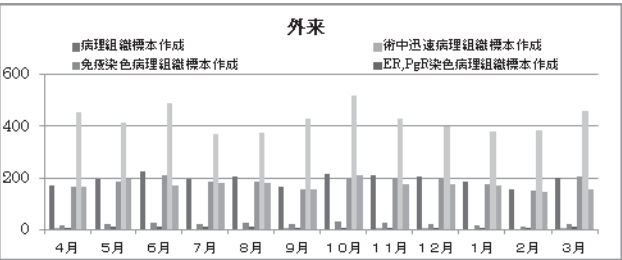
(入院)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
微生物学的検査(一般細菌)	1375	1929	1926	2085	2406	1922	2521	2402	2143	2030	1857	2107	24,703
微生物学的検査(抗酸菌)	11	23	55	31	45	38	31	23	39	25	17	38	376
微生物学的検査(迅速)	11	11	10	22	10	6	12	18	27	14	43	22	206
合 計	1397	1963	1991	2138	2461	1966	2564	2443	2209	2069	1917	2167	25,285

＜病理学的検査＞

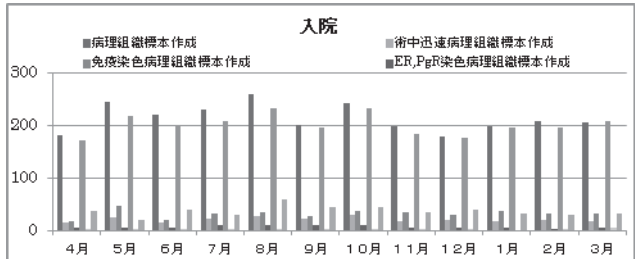
2012年度、病理検査室では救命救急センターより1名の臨床検査技師を迎え、退職に伴い採用した細胞検査士と共に、細胞診部門2名、組織部門2名の計4名の人員体制となった。また、病理システムの更新により、従来、薄切した組織標本は、目視確認によって組織ブロックの標本番号とプレパラートの標本番号を照合してプレパラートに貼付していたものが、予め組織ブロックに印字された2次元バーコードとプレパラート印字機能をリンクさせる事で薄切の際にプレパラートが印字される様になった。これにより、標本の取り違えによる患者誤認を防止出来るものと期待できる。



2012 年度 病理検査件数



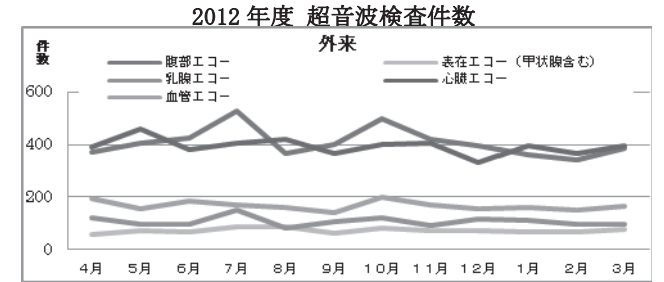
(外来)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病理組織標本作成	170	197	223	197	204	164	214	211	207	186	154	202	2,329
術中迅速病理組織標本作成	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	6
免疫染色病理組織標本作成	19	22	29	21	25	20	31	26	22	15	13	21	264
ER, PgR 染色病理組織標本作成	9	13	11	10	12	8	7	3	5	5	6	11	100
病理診断（料）	164	188	209	187	187	156	198	199	202	175	152	204	2,221
細胞診（婦人科材料）	455	412	489	369	373	427	516	429	400	377	382	458	5,087
細胞診（その他材料）	168	196	173	182	180	157	208	176	177	173	147	154	2,091
合 計	987	1028	1134	966	981	933	1174	1045	1014	931	854	1051	12,098



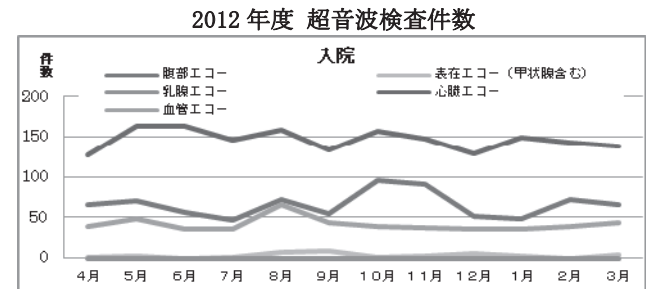
(入院)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病理組織標本作成	182	244	221	231	259	200	242	199	180	198	209	205	2,570
術中迅速病理組織標本作成	17	26	17	24	28	23	30	19	21	18	20	18	261
免疫染色病理組織標本作成	19	48	21	33	36	28	38	36	31	37	32	33	392
ER, PgR 染色病理組織標本作成	7	6	7	12	12	10	10	5	7	5	4	6	91
病理診断（料）	171	218	198	209	233	195	233	183	177	196	197	207	2,417
細胞診（婦人科材料）	2	4	1	3	4	4	2	4	4	0	3	7	38
細胞診（その他材料）	37	21	39	31	59	44	44	35	40	33	31	34	448
合 計	435	567	504	543	631	504	599	481	460	487	496	510	6,217

＜生理機能検査＞

2012年5月より、超音波検査室を2室増やし8室とした。予約患者様以外の増加する当日緊急エコーの依頼にも待ち時間の短縮になったと思われる。超音波装置の不足する曜日があるため、装置購入が次の課題と考えられる。臨床からの要望により、関節エコーも開始した。件数は、前年度に比べ、心エコーで11%増、血管エコーで17%増であった。術前（表在）エコーも増加している。



(外来)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	897	1014	1007	1090	1010	943	1086	993	948	1012	964	1008	11,972
負荷心電図(トレッドミル含む)	138	137	99	124	139	110	114	127	95	98	102	112	1,395
ホルター心電図	37	46	30	38	24	19	35	30	24	30	21	25	359
簡易呼吸機能	226	247	304	329	311	255	291	260	236	247	245	271	3,222
精密呼吸機能	3	1	5	2	6	7	1	3	2	6	4	6	46
脳波	5	7	10	5	9	10	14	9	7	6	8	7	97
脳波(小児)	11	2	12	12	22	10	14	9	10	18	5	23	148
ABR(新生児)	58	66	60	80	73	68	77	66	71	55	51	60	785
ABI・CAVI	95	112	102	110	105	93	114	115	99	103	110	152	1,310
SPP	5	6	3	4	3	1	5	5	3	5	8	8	56
中心血圧	0	0	1	0	0	9	27	30	29	43	37	42	218
腹部エコー	372	403	427	527	367	401	496	422	396	362	339	385	4,897
表在エコー(甲状腺含む)	56	73	68	87	85	61	82	71	70	69	66	78	866
乳腺エコー	122	96	95	148	81	105	119	90	116	109	94	94	1,269
心臓エコー	391	461	380	404	419	365	400	405	333	396	365	394	4,713
血管エコー	196	154	185	168	162	142	201	170	155	158	149	163	2,003
その他エコー	0	0	0	0	0	0	5	2	3	1	1	2	14
合 計	2612	2825	2788	3128	2816	2599	3081	2807	2597	2718	2569	2830	33,370

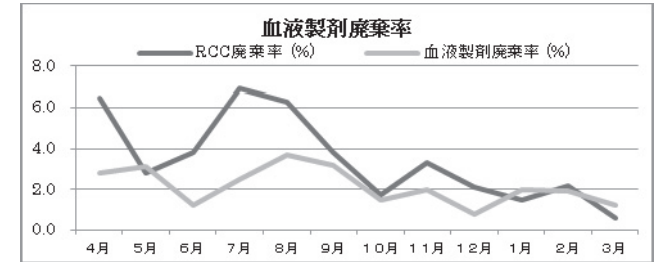


(入院)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	163	191	186	178	210	226	205	202	175	182	177	146	2,241
負荷心電図	2	5	3	14	13	5	10	9	3	2	12	9	87
ホルター心電図	3	4	4	2	5	4	8	7	6	3	3	4	53
簡易呼吸機能	22	35	21	25	23	23	23	7	21	21	22	27	270
精密呼吸機能	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	4
脳波	2	3	2	5	1	0	1	2	0	0	2	2	20
脳波(小児)	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	6
ABI・CAVI	33	28	34	28	44	29	30	40	21	33	39	30	389
SPP	4	8	5	5	3	3	2	8	4	2	3	2	49
中心血圧	4	0	2	6	1	2	1	1	1	0	1	2	21
腹部エコー	65	71	56	46	72	55	96	91	52	48	72	66	790
表在エコー(甲状腺含む)	1	2	0	1	7	8	1	3	6	2	0	4	35
乳腺エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓エコー	127	164	164	146	159	134	158	148	129	149	143	138	1,759
血管エコー	39	49	36	36	65	44	39	37	36	35	39	43	498
その他エコー	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	4
合 計	465	560	513	493	604	534	575	560	455	479	514	474	6,226

<輸血検査>

救命センターとの統合に向け、輸血検査の増加や緊急(大量)輸血等に対応する為に、全自動輸血関連検査機の増設及び輸血管理システムの更新を行い、血液製剤を輸血部と救命センターの2か所に配置した。更に、緊急輸血時の検査やO型RCC、AB型FFP使用時対応等の研修を技師全員に行った。又、日赤で製造できなくなったベビー用3連、4連バッグを院内で製造できるようにした。

2012 年度 輸血検査件数														
(外来)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
血液型検査	337	390	393	413	402	363	411	397	340	413	381	436	4,676	
直接クームス試験	4	5	3	1	2	2	6	3	3	3	4	3	39	
間接クームス試験	62	93	74	61	81	78	91	95	70	86	80	88	959	
血液交差試験(RCC)	28	32	33	35	50	37	41	31	27	33	30	38	415	
血液交差試験(FFP,PC)	0	0	0	2	2	4	4	5	3	6	0	2	28	
自己血貯血	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
合 計	431	520	503	512	537	484	553	532	443	541	495	567	6,118	
(入院)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
血液型検査	155	149	157	172	178	166	155	170	132	153	121	161	1869	
直接クームス試験	6	0	4	2	3	1	2	1	3	1	1	5	29	
間接クームス試験	24	15	11	9	12	13	22	29	11	9	13	19	187	
血液交差試験(RCC)	114	144	134	142	142	150	151	167	166	120	137	148	1715	
血液交差試験(FFP,PC)	82	102	84	89	92	65	103	122	131	70	96	88	1124	
自己血貯血	3	5	6	6	11	6	7	11	6	6	7	7	81	
合 計	384	415	396	420	438	401	440	500	449	359	375	428	5005	



血液製剤廃棄率														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
RCC 納品数	462	572	426	574	574	582	578	658	684	414	540	628	6692	
RCC 廃棄数	30	16	16	40	36	22	10	22	14	6	12	4	228	
RCC 廃棄率(%)	6.5	2.8	3.8	6.9	6.3	3.8	1.7	3.3	2.1	1.5	2.2	0.6	3.4	
血液製剤納品(千円)	10,363	9,845	11,310	13,764	12,678	10,602	4,981	11,970	18,781	6,738	12,314	12,509	135,856	
血液製剤廃棄(千円)	293	310	138	345	465	338	237	242	155	138	238	147	3,045	
血液製剤廃棄率(%)	2.8	3.1	1.2	2.5	3.7	3.2	1.5	2.0	0.8	2.0	1.9	1.2	2.2	